



すずしろ

～開拓・発展・完成～

5月 第3号

平成28年5月10日

開進第四中学校だより

校長 新村 紀 昭

第55回運動会に向けて

オリンピック・パラリンピック東京2020大会によせて

新年度を迎えて1ヶ月がたちました。桜の木も青葉がまぶしく茂っています。授業も本格的に始まり、授業に部活動に熱心に取り組む姿があらこちらで見られます。

先日の学校公開、保護者会には、お忙しい中、多くの方にご参観いただきありがとうございました。

さて、先日、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の公式エンブレムが決定しました。この公式エンブレムは「組市松紋(くみいちまつもん)」といい、歴史的にも世界中で愛され、日本では江戸時代に「市松模様(いちまつもよう)」として広まったチェッカーデザインを、日本の伝統色である藍色で描いたものです。

開催都市である東京で学ぶ皆さんにとって、東京2020大会は貴重な経験の場であり、生涯にわたり財産となる千載一遇の機会です。本校では3年前から体力向上も含め、オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受けて取り組んできましたが、今年度からは全小中学校で取り組むこととなりました。

そこで、5月14日(土)に開催する第55回運動会に向けて、東京2020大会について触れたいと思います。オリンピックはスポーツを通じて世界平和の実現を目指し4年に一度開かれる世界最大のスポーツの祭典であり、パラリンピックは障害のある人が参加する世界最高峰の国際競技大会です。そしてその魅力は世界のトップアスリートの熱戦が目前で展開されることだけでなく、国や街、人々を変える力をもっていると言われていています。現に1964年の東京大会では新幹線や高速道路等の交通網、



運動会練習風景



国立競技場に代表される

競技施設の整備が進められました。

では、東京2020大会はどんな大会を、目指しているのでしょうか。開催基本計画には、以下の3つのコンセプトが掲げられています。

「すべての人が自己ベストを目指し」

「一人ひとりが互いを認め合い」

「そして、未来につなげよう」

●「全員が自己ベスト」とは、世界最高水準の技術を活用し、安全・安心・確実な準備と運営で全選手が最高の力を発揮できるようにする、観客も選手と一体となって大会を盛り上げ、全ての日本人が最高の「おもてなし」で世界中の人々を歓迎することです。

●「互いを認め合う(多様性と調和)」とは、世界中の人々があらゆる面での違いや、様々な形や種類、見方・考え方などの多様性を認め、互いを受け入れ、様々な生物等と一緒に生活する共生社会を作る契機(きっかけ)となるような大会とすることです。公式エンブレムのデザインは、形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、国や文化・思想などの違いを示しながら、違いはあってもそれらを超えてつながり合う「多様性と調和」のメッセージが込められているそうです。

●「未来につなげよう(未来への継承)」とは、日本が世界に向けて積極的によい変化が起きるように働きかけ、未来へつなげていくこと

を意味しているそうです。

この3つのコンセプトは、運動会の中で皆さんに発揮してほしい姿勢でもあります。選手としてはもちろん実行委員会を中心に準備から当日の運営、学級の仲間や応援して下さる来賓、保護者の方々への感謝の気持ちも含めて、開四中生としてベストを尽くす姿勢。

学級や学年の仲間について、互いの個性や努力を認め讃えあい、高め合おうとする姿勢。

3年生を中心に、これまで開四中の先輩たちが築いてきた伝統、運動会に対する思いや校風を演技等の中で発揮し、次世代につなげる姿勢。こうした姿勢を最後まで見せてくれることを期待しています。

平成28年度 離任式

「オリンピック・パラリンピック学習読本」より

4月28日（木）の離任式には3名の先生方が来てくださいました。3人の先生方は皆さんが式に臨む姿勢を見て、素晴らしいと評価して下さり、この開四中の伝統を大切に引き継いでほしいと話してくださいました。また、欠席されたお二人からも「開四中は大変すばらしい学校です、元気でこれからもがんばってください」というメッセージをいただきました。では、ご来校いただいた先生方からのメッセージを掲載します。

塚越久枝先生 4月は環境の変化や出会いがあり、自分を変えるチャンスですが、新しい環境に慣れることは大変な面もあります。人はつまずき上手いかななくなると、下を向いてしまうことがあります。下を向くと光が当たらず周りが見えなくなり、ますます暗くなってしまいます。だからそんな時こそ顔を上げ、光を当ててほしいです。「面白い」という言葉の語源は、光が顔にあたり白く見えることからきています。嫌だな、辛いなどと思ったら顔を上げて周りを見てください。おもしろい（面白い）ことに出会えるかもしれません。誰かが助けてくれたり一緒に乗り越えてくれたりすると思います。これからもぜひ、前向きに頑張ってください。



平山壽美先生 私は桜が好きで、毎年桜前線が北上する情報を楽しみにしていますが、今年は驚いたことがありました。私は単純に暖かい南の地方から北に順番に開花すると思っていたのですが、



今年は関西地方よりも先に東北地方の桜が開花したのです。天気予報士の話では、桜は厳しい寒さを乗り越えないと開花しないというのです。今年、関西地方は暖冬だったため桜の木が厳しい寒さを経験していない、開花せずに終わる場合もあるという話でした。私はこの話を聞き、人生で大変だった時期を乗り越えた時や一所懸命に努力した時に、充実感が得られたことを思い出しました。皆さんには、桜が冬の厳しさを乗り越えて開

花させるように、あきらめずに一所懸命に頑張ることが充実感につながるということ、そうした日々を送ってほしいと願っています。

伊藤芳子先生 短い間でしたが、皆さんに出会えたことは人生の財産になると思います。お互い刺激を受けたことがあったと思いますが、これからも出会いを大切に人生を送ってほしいです。中学校時代は自己嫌悪に陥りやすい年代だと思いましたが、今の立場が嫌で苦しくてしかたがないと考えている人ほど、美しい花を咲かせることができると思います。中学校時代はまだ何も成し遂げていません。自分や友達のこと、将来の仕事のことなど不安や悩みは尽きないと思いますが、だからこそ、それを突き抜ける努力、スポーツで言えばトレーニングを積むしかない、鉛筆をもって勉強をしてほしいと思います。大人になった皆さんと再会することを楽しみにしています。



5月14日（土）第55回運動会 午前9時30分開始 都立大山高等学校校庭

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。